

どのした淵

例年より早めの梅雨入りになりました。皆さんお変わりありませんか？

災害や危険箇所は無かったでしょうか！防災訓練以降発見された箇所等ありましたら、ご報告ください。

【のぼり旗設置しました】

情報誌第2号(先月号)でお知らせした「のぼり旗」6枚が出来上がり早速設置しました。どのした淵が憩いの水辺になったらいいな！



発行責任者

高峯公民会長

三 腰 善 行

☎ 54-2344

090-1089-9432

6月1日発行



【全員参加ボランティア第1弾】

年間事業に組んでいるグループ分けによる全員参加ボランティアを、7月18日(日)に実施します。当日は早朝より町内一斉清掃活動もあります。詳しくは次回号及び放送でお知らせいたしますが、グループごとの大まかな作業内容をお知らせします。

■ヤングアダルト&ジュニアグループ

①高峯川流路内にある樹木伐採・処分(焼却)
②どのした淵及び消防進入路の除草・整理(遊べる空間づくり)

■※バックラフト体験(ジュニア集合)

■ウーマングループ

①公民館内外の清掃・除草

②そうめん昼食準備(そうめん・つゆは参加者全員で持ち寄り・寄付歓迎)

■シニアグループ

①ふれあい広場・国道沿い(ごみステーション先まで。時間があれば神社)の除草

※バックラフトとは、アラスカの自然を旅するために生まれた、一人乗りのラフトボートのこと。非常に軽量で、ザックに入れて持ち運びができるため、今までたどり着けなかった湖や川からエントリーできる新しい道具です。さららの楽校から借りてくる予定です。

☆当日は自分の体調にご相談の上参加ください。無理しなくて結構です。が原則全員参加です。『出来ることを出来る時に出来る人が』の精神で公民会(公共)のためにキバイモンソ(+)です。

【町内一斉防災訓練・点検実施】

5月30日(日)町内一斉に防災訓練・点検が開催されました。コロナ禍において情報伝達訓練と点検を重点的に行うようにとの通知でしたが、年1回の訓練なので避難訓練も行うことにいたしました。

最近では前代未聞の豪雨をはじめ異常気象が続発しています。今年も観測史上2番目に早い？梅雨入りとなっています。今までの常識では計り知れない気象状況になってきていることを認識する必要があります。

訓練の時もお知らせしましたが、避難の際は電源ブレーカーの遮断、火元の確認、プロパンガスの元栓を閉める等の意識を持ちましょう。併せて避難グッズの装備についても考慮しておく必要があります。

「自分の命は自分で守る」ことが大前提です。状況が悪化してからの行動は危険を伴うばかりか、行政・消防団等の援助も難しくなります。異常気象が予想されるときは早めの避難行動を起こしましょう。大災害の際は、地区の避難所だけでは収容しきれないので、近隣や親せきへの避難も推奨されています。公民館も避難所としての活用を町から要請されていますが、土砂災害警戒区域(イエローゾーン)に指定されているので最終手段になります。

【5月20日から避難勧告は廃止です】

これまでの避難情報等が変更になります。

- 警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始が高齢者等避難に
- 警戒レベル4 避難指示・避難勧告 が避難指示
- 警戒レベル5 災害発生情報 が緊急安全確保となります。



「避難」って何をすればいいの？

- ① 行政が指定した避難場所への立ち退き避難
- ② 安全な親戚・知人宅への立ち退き避難
- ③ 安全なホテル・旅館への立ち退き避難
- ④ 屋内安全確保

【ふるさととの史跡・伝承を製本化】

平成10年に青少年育成町民会議泊野支部と活性化委員会で作成した「ふるさととの史跡と伝承」の簿冊を活性化委員会の文化民生部会で加徐修正し、製本化する事業を行います。

高峯編には ①三腰野 ②現王様の腰かけ石 ③銀平茶屋跡 ④うすぐろ ⑤小高峯 ⑥椿峠 ⑦高峯 ⑧はらひい ⑨薬師堂 ⑩狸岩（だめきゅわ） ⑪こびら ⑫新右衛門茶屋跡 ⑬太鼓橋 ⑭大山祇神社 ⑮高峯の田の神 ⑯現王原（げんのばい） ⑰大山祇神社・観音堂 ⑱念仏山（イチ山） ⑲屋床（矢床） ⑳水晶ケ段 等の史跡等が記載されています。新たに記載してほしい史跡や、掲載済みの史跡等について、皆さんが聞き及んでいる史実や噂がありましたらお報せ下さい。7月30日に1回目の編集会にて検討いたします。

区民が地域の史跡を再認識するとともに、ふるさとを見つめなおし、地域に残る史跡や伝承を後世に残すため、さらには出郷者とのつながりを持つために、内容の充実に努めたいと思います。区民の貴重なご意見を賜ればと思います。よろしくお願いいたします。

※編集後記 『の神さあひのひとらいつ』

6月は水無月（みなづき）とも言う。水無月の由来には諸説あるが、「無」は「の」を意味する連動詞「な」であり「水の月」であるとする説が有力である。神無月の「無」が「の」で、「神の月」を意味するのと同様であると考えられる。田植えが終わって田んぼに水を張る必要のある月「水張月（みずはりづき）」「水月（みなづき）」であるとの説、などもある。文字通り、梅雨が明けて水が涸れてなくなる月であると解釈されることもあるが、これは俗説（語源俗説）である。他に、田植えという大仕事を終えた月「皆仕尽（みなしつき）」であるとの説もある。

英語ではJuneという。ローマの神話のユピテル（ジュピター）の妻ユノ（ジュノー）から取られた。ユノが結婚生活の守護神であることから、6月に結婚式を挙げる花嫁を「ジューン・ブライド」（June bride、6月の花嫁）と呼び、この月に結婚すると幸せになるといわれる。

日本におけるジューン・ブライドは、6月の雨がジメジメした薄暗い雰囲気結婚する人が少ない事に困ったブライダル業界が1970年代頃から始めた物であり、それまでは知られていなかった。（ウキペディアより）

何はともあれ、災害要注意の月には間違いないです。農作業等も十分気を付けて安全に過ごしましょう！